

タンチョウ注意 道路警戒標識

—— 国道と道道で新設 ——

数年前からタンチョウが親子で国道や道道を横断する様子が目立ってきました。
昨年の暮れに、国道(240号)と道道(222号)で標識が新設されました。



国道(240号)の標識



道道(222号)の標識

北海道新聞 令和元年5月10日

飯間獣医師が手作りしたマグネットは、展示中の標識をそのまま小さくしたデザインで大きさは4・5センチ。「標識とおそろいのマグネットを車や冷蔵庫など目に触れる場

市動物園の飯間獣医師が製作 ツアー参加者に配布



所、
タンチョウの警戒標識はよく出没する道道に設置されている。回園は、かつて獣医師として勤めていた志村良治さんが描いたタンチョウの絵を使い、本物に似せた標識を制作してツル舎をばに展示。来園者に交通事故で死傷するタンチョウの存在を知らせている。

「タンチョウ・レスキュー」の参加者に無料で配る。(安達杏奈)
ドライバーに動物の飛び出しなどへの注意を促す警戒標識。釧路市動物園の飯間裕子獣医師(38)が、釧路の道道に設置されたタンチョウの絵柄の警戒標識をモチーフにオリジナルのマグネットを作った。タンチョウが巻き込まれる事故について知ってもらいたい。12日に園内で開くタンチョウ保護に関するバックヤードツアー

所で使ってもらい、タンチョウの事故防止につながる

と話す。
バックヤードツアーの定員は15人。参加希望者は当日午前11時45分にツル舎掲示板前に集合する。定員を上回る場合は抽籤。マグネットは6月以降のツアーでも配る予定。問い合わせは回園☎0154・56・2121へ。

「タンチョウ注意」マグネットに

タンチョウの警戒標識をイメージしたマグネットを手にする飯間裕子獣医師